

飛躍の2009

大躍進の興譲館

本年の興譲館の活躍は目覚ましく、特に部活動においては多くの部が素晴らしい結果を残した。日頃から文武両道に励み努力する姿が良い結果を生んだ。

吹奏楽研究



26年ぶり、東北での演奏なる

女子ホッケー



創部初の県制覇
& 全国選抜出場!

野球～秋季県大会～



夏秋
2季連続県ベスト8!
(県立校唯一)

女子ソフトテニス



シード撃破!
堂々の第3位!!

フェンシング



県完全制覇!

ハンガリーにて 舟山佳穂さん



舟山(南原中)
日本代表選出!!



夏
～県営球場での全校応援～
(VS 米沢中央)

興譲館だより

Yonezawa Kojokan High School

第16号

平成21年12月25日発行

山形県立

米沢興譲館高等学校

〒992-1443

山形県米沢市大字笹野1101

TEL 0238-38-4741

FAX 0238-38-2531

http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/

部活動の記録

【置賜地区高等学校秋季総合体育大会】

- 団体
 - 《第1位(優勝)》フェンシング/男女
 - 山岳部 ホッケー/女子(初優勝)
 - 《第2位》サッカー バドミントン/女子団体
 - ホッケー/男子
 - 《第3位》
 - 硬式野球 バレーボール ソフトテニス/男女
 - 柔道/男女団体 剣道/女子団体
 - 弓道/女子団体 バドミントン/男子団体
- 個人
 - 《第1位(優勝)》
 - 陸上競技/女子3,000mW・走り高跳び
 - バドミントン/女子シングルス・ダブルス
 - フェンシング/男子フルーレ・エペ・サーブル
 - 女子フルーレ・エペ・サーブル

- 《第2位》
 - 陸上競技/女子3,000mW・走り高跳び
 - ソフトテニス/男子個人
 - 柔道/男子60kg以下級・66kg以下級
 - バドミントン/女子ダブルス
 - フェンシング/男子フルーレ・エペ・サーブル
- 《第3位》
 - 陸上競技/女子100m・走り高跳び
 - 100m×4R・400m×4R
 - ソフトテニス/男子個人・女子個人
 - 柔道/男子60kg以下級・66kg以下級
 - 73kg以下級・90kg以下級
 - 剣道/男子個人 バドミントン/男子ダブルス
 - フェンシング/男子フルーレ・サーブル
 - 女子フルーレ・エペ・サーブル

【山形県高等学校新人大会】

- 団体
 - 《第1位》フェンシング/男女 ホッケー/女子(初優勝)
 - 《第2位》ホッケー/男子
 - 《第3位》ソフトテニス/女子団体
- 《優秀賞》山岳部
- 《その他》サッカー/県ベスト8(9年ぶり)
- 個人
 - 《第1位》陸上競技/女子走り高跳び

- フェンシング/男子フルーレ・エペ・女子エペ
- 《第2位》陸上競技/女子3,000mW・走り高跳び
- フェンシング/男子サーブル・女子サーブル
- 《第3位》
 - フェンシング/男子フルーレ・エペ・サーブル
 - 女子フルーレ・エペ
- 柔道/男子100kg超級・女子48kg以下級

【東北高等学校新人大会】

- 団体
 - 《第2位》ホッケー/女子
- (3月に行われる全国大会への出場決定)
- 陸上競技/女子走り高跳び・女子3,000mW
- 走り高跳び《出場》

【その他の大会】

- *フェンシング/東北高校選手権大会
- 《第1位》[男子個人] エペ
- 《第2位》[男子個人] フルーレ
- [女子個人] エペ
- 《第4位》[女子個人] サーブル
- 《第7位》[女子個人] フルーレ
- 2009ヨーロッパ・カデ・サーキット出場
- *水泳/東北総体
- 《第4位》[男子個人] 3m飛板飛込

- *硬式野球部/夏の甲子園予選《県ベスト8》
- *バレーボール/春高/レール置賜地区予選
- 《第3位》《県大会出場》

【文化部の活動】

- *吹奏楽研究クラブ
 - /全日本吹奏楽コンクール置賜地区大会
 - 《優秀賞》(県大会出場)
 - 全日本吹奏楽コンクール山形県大会
 - 《金賞》(26年ぶり東北大会出場)
- *新聞・文芸部
 - /山形県高等学校新聞コンクール《優秀賞》
- *美術部
 - /置賜地区高等学校美術展
 - 《特選》1名・《奨励賞》3名
 - 山形県高等学校美術展《奨励賞》2名

興譲祭を振り返り

興譲祭実行委員長

島貫 良多（川西一中出身）

今年の興譲祭は、天地人ブームにも負けない、例年以上の盛り上がりを見せていた。その最大の要因はやはり、三年生が先頭に立つて興譲祭の実施にあたったことだと思う。

ここ数十年続いていた風習を打破するという事で様々な意見が出された。しかし、それらの議論も含め、興譲館高校の伝統を見つめ直し、生徒全員の手で興譲館に新たな歴史を刻めたのは私たちの誇りとなった。

興譲祭に限らず今年度の自治会は様々な変革が為された。その変革を今年度だけのものにせず、後輩の皆さんには脈々と受け継いでいてほしい。

誇り高き義の後継者として…。



アンコール合唱もみんなで

合唱コンクール最優秀クラス指揮者

横川 佳梨（白鷹東中出身）

「二回歌おう」。そう心に決めて、夏休み中も積極的に学校に集まって練習に励みました。聞いた人の心に情景が映るような合唱を目標に、ただ楽譜をなぞるだけではなく、曲の持つ雰囲気大切に歌いました。練習を重ねるごとにクラス全員が歌に想いを込め、歌声が一つになっていくのを感じました。最優秀賞という素晴らしい賞を獲得できたことは、高校生活の良い思い出になりました。

最後にはなりましたが、支えて下さった皆さんに、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

興譲祭 歩み続けたその果てに

今までとこれから 共に歩もうどこまでも

高鍋高校との交流 先人の歩みをたどり



宮崎県立高鍋高校との交流

生徒自治会長 渡部真理奈（米沢四中出身）

宮崎県高鍋高等学校との交流事業が先日行われました。高鍋町と米沢市との間には上杉鷹山公が日向高鍋藩で生まれ、その後米沢藩の藩主となった縁があります。この交流事業では毎年交互にお互いの学校を訪問していて、今年は本校に高鍋高等学校のみなさんがいらつしました。上杉神社をはじめとする米沢の名所を回ったり、一緒に食事をしたり、また、本校の授業に参加し宮崎県のことを紹介してくれました。みなさんとても楽しそうな様子でした。駅での別れ際は非常に名残惜しく、涙を流した人もいました。

この交流事業はとても良い経験になりました。少しでも自分自身成長していれば幸いです。

有識者から

知を学べ

本年も様々な分野の方よりお話を頂く機会があった。人気のあるプロファイリングや、近年注目されている有機ELなどを学び、興譲館生も刺激を受けたようだ。



桐生正幸氏

本校OB 関西国際大学 教授

犯罪プロファイリングを主な研究領域としている。「世界一受けたい授業（NTV）」や「爆笑問題のニッポンの教養（NHK）」など多数のメディアに出演し、幅広い活躍を見せる。

創立記念講演会

同窓生と語る会

文化講演会

同窓生と語る会で学んだこと

一年 松田 澄子（沖郷中出身）

私は今有礼さんから低酸素運動の研究や映像解析での改善点発見などのお話をお聞きしました。選手を支える形でスポーツにも科学が活かせることに、新鮮な驚きを感じました。原因を追及し、そこから得た発見をもとによりよいものを創り出す研究を私もしてみたいと思いました。私は漠然と理系に進むつもりで考えていませんでしたが、この会を通して理数科に進む決心を強めました。自分の決心と理数科に誇りを持ち、学校生活に励んでいきます。



夢に光を、未来に笑顔を

二年 加藤 法子（南原中出身）

自分の能力のスイッチがONになった時、新しい未来に光が灯ります。自らの手で夢を照らし、一人の有機ELの研究者として世界を照らしている城戸淳二先生の生き方に私の目は光華しました。そして、私たちの住む地元米沢で世界レベルの活躍をなさっている人がいることに誇りを感じます。先生の講演の数日後、伝国の社で展示されている有機ELのスペースを訪れました。従来の電気とは違う温かみや技術に触れ、興味が生まれました。多くの分野にアンテナを張り、夢を広げながら世界に貢献できる人材になりたいと強く思います。

山形大学 教授 城戸淳二氏

次世代光源として期待される有機EL研究の第一人者。有機EL研究は国内外問わず大きな注目を浴びている。製品製造において、県内企業へ委託するなど、県内経済の振興にも尽力している。





大学・企業訪問

2年東京キャリア研修

東京キャリア研修を通して

二年 佐藤 修平（沖郷中出身）

今回のキャリア研修は、今まで自分と向き合ってきたが少なかつた私にとって、将来を考え直す良い機会となった。私達は三日間にかけて東京の様々な大学や企業、施設に訪問してきた。それぞれが有する長所や他との相違点を発見することで、自分の未来のあるべき姿をより深化したものにできた。これから選んでいく道は決して楽なものではないが、今回出来た自分の将来像を目標に努力していきたい。

東京キャリア研修 主な訪問・研修先一覧

- 1日目** 清水建設・YAHOO! JAPAN
ゼリア新薬・デサント・スポーツ科学センター
日本科学未来館・パナソニック
東京学芸大学・首都大学東京・お茶の水大学
東京外国語大学
- 2日目** 東京大学・早稲田大学・東京農工大学
首都大学東京・電気通信大学
テレビ朝日・スキージャーナル・JR東日本
最高裁判所・東京証券取引所・日本旅行
- 3日目** 東京国立博物館・国立科学博物館
国立西洋美術館・東京都美術館

理数科独自の最新科学技術体験



1年 東京サイエンスツアーメンバー



2年 サイエンス工房

サイエンス工房に参加して

二年 松密 祐樹（米沢三中出身）

先日、山形大学工学部でサイエンス工房が開かれた。2回目では、無機化学と有機化学に分かれ実験などを行った。私たちのグループは有機化学を選択し、フェニールフタレインの合成の実験を行った。自分で合成したフェニールフタレインに塩基を加えて赤く染まったときは感動した。また実験の際、先生や学生が実験の順序や器具の使用方法を丁寧に指導してくださり、スムーズに進めることが出来た。大学は高校に比べ専門性が高く設備も充実しており、普段なかなかできない貴重な体験をすることができ大変有意義であった。

東京サイエンスツアーに参加して

一年 荒川 修斗（米沢一中出身）

今回、東京サイエンスツアーに参加して一番に思ったことは、やっぱり理数科って面白いなあということでした。自分の調べたいことをとことん調べることができるし、何より、環境が良いということです。自分の周りのほとんどの人が、将来理系に進学する人達ばかりで、話をしているととても参考になりました。未だに進路がぼやけている自分にとって、すごく良い刺激になりました。

今後の学習や、これからある自分の研究発表の場面などで、今回の研修で学んだことを活かしていきたいと思います。